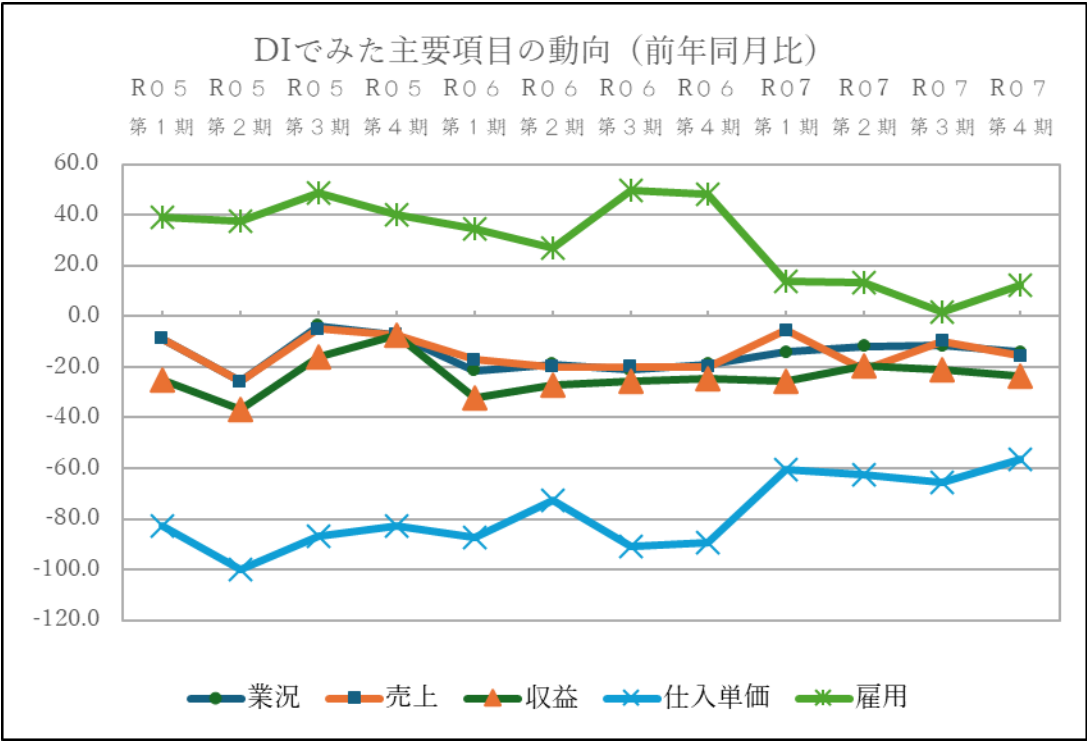


景気動向調査 令和7年度・第4期（令和8年1月～令和8年3月）

調査概要

調査対象:赤穂商工会議所管内 78社
回収:64社 回収率:82.0%
調査対象期間:令和8年1月～令和8年3月(令和7年度・第4期)
DI値:「良い＋やや良い」と判断する事業所の割合から、「やや悪い＋悪い」と判断する事業所の割合を差引き、指数で表します。従って、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感を意味します。
補足：本年度より中小機構の「中小企業景況調査」に参加した関係で調査対象・調査項目が大幅に変更となりました。令和6年第4期以前の記録は参考値として掲載しています。

調査結果のポイント



* 令和6年第4期以前は参考値

全産業合計DI

区分	R7第3期 (R7年10月～12月) * 前年同月比	R7第4期 (R8年1月～3月) * 前年同月比	R7 第4期 今期のみの業績
業況	△11.5	△14.1	△17.2
売上	△9.8	△15.6	
収益	△21.3	△23.4	+15.6
仕入単価	△65.6	△56.3	
雇用	1.6	12.5	

※雇用 DI については、数値が大きいほど人手不足感を表す

- 今期の景況(前年同月比)をみると、全産業合計の業況DIは前回調査(R7 年3期)に比べ2.6ポイント下降の△14.1となった。売上DIは5.8ポイント下降の△15.6、収益DIは2.1ポイント下降の△23.4となり、また仕入単価は9.3ポイント上昇で△56.3、雇用DIは10.9ポイント上昇の12.5となった。
- また、今期のみの業績(比較なし)については、全産業合計の業況DIは△17.2、収益は+15.6となった。

産業別売上DI

	前年同月比				
区分	R6 第4期	R7 第1期	R7 第2期	R7 第3期	R7 第4期
全体	△20.0	△5.6	△20.9	△9.8	△15.6
建設業	△25.0	△9.1	△9.1	△18.2	△18.2
製造業	△18.2	5.9	△13.3	△13.3	23.5
卸売業	0.0	11.1	△22.2	△12.5	△28.6
小売業	△34.6	△29.4	△52.9	0.0	△40.0
サービス業	33.3	0.0	0.0	△7.1	△28.6

*R6 第4期以前は参考値

- 産業別の売上DIは前回調査(令和7年3期)と比較すると、製造業が23.5(+36.8ポイント)で改善、建設業が△18.2で不変、卸売業が△28.6(△16.1ポイント)、小売業が△40.0(△40.0ポイント)、サービス業が△28.6(△21.5ポイント)で悪化となった。

**経営上の問題点
(上位3項目)**

区分	R6 第4期	R7 第1期	R7 第2期	R7 第3期	R7 第4期	前回調査比
従業員の確保	22.4	24.4	27.2	28.3	27.0	△1.3
原材料高	17.6	16.5	16.6	18.1	18.9	+0.8
需要の停滞	-	9.3	7.5	10.2	11.6	+1.4

*R6 第4期以前は参考値

○事業所からのコメント

製造業

- ・足元では受注や引き合いは堅調に推移しているものの、原材料価格や為替の影響もあり、依然として慎重な経営判断が求められる局面だと感じている。

<参考>

有効求人倍率

区分	R7.12月	R7.11月	R7.10月
一般(常用)	0.96	0.81	0.73
パート(常用)	0.91	0.72	0.57
一般+パート(全合計)	0.94	0.77	0.66

